

新病院建築ニュース

平成28年春開院

善衆会病院は、50年先を見据えた医療を提供していきます。その第1歩として、平成28年には新病院を新築オープンさせます。まずは、この先10年の変化に対応すべく、環境に配慮し、高度な医療設備をもとに、新たな地域の診療拠点としての重責を担います。



Vol.9 -2016.4.10 発行-

新病院における地域医療連携室の役割

地域医療連携室は、地域の医療機関や保健・福祉機関との連携の窓口として、患者さまに切れ目のない医療・看護・介護サービスが提供できるように支援することを役割としています。

看護師2名、社会福祉士6名、事務1名、臨床心理士1名の体制で、医療機関からの受入要請の応需、医療機関からの紹介状と返書管理、近隣医療機関への訪問活動、患者さまや家族の抱える心理的・社会的な問題解決を支援しています。

当院では、前橋東部の地域にある介護施設へ訪問で胃ろう交換を行っていますが、その窓口業務も行っています。また、前橋東部の地域医療を担う医療機関として、近隣の保健・福祉機関との連携強化を目的とする勉強会・連絡協議会を行い、主に栄養管理に関する各現場での問題や課題を上げ、情報共有や改善策の検討を行うなど、顔の見える連携づくりに努めています。

【新病院に向けての目標】

新病棟では、患者さまが安心・納得して退院し、早期に住み慣れた地域で療養や生活を継続できるように、入院前から支援に関われるような取り組みを強化します。患者さまへの入院説明を外来看護師と地域医療連携室の協働で行い、その中で退院に向けて支援が出来るような体制を目指します。

また、今後よりいっそう入院前から退院後まで、地域と協働しながら途切れのない連携が行えるように努めていきます。



善衆会病院 地域医療連携室スタッフ

新病院のデータ

[所在地]	前橋市筑井町 54-1
[階層]	地上6階立て
[病床数]	198床
[敷地面積]	18,270.82 m ²
[延床面積]	13,573.60 m ²
[駐車台数]	500台



新病院建築進捗状況

3月上旬に外装工事は完成し、現在は内装工事と外構工事を並行して進めております。3月中旬現在、各部屋の床材や壁紙は貼られ、内装は仕上げ段階に入っており、新病院完成まであとわずかとなりました。



新病院の院内を一部お見せします



個室
紺と白を基調に使い、落ち着いた雰囲気仕上げました。



多床室（4床室）
白と木目のデザインを多用することで、洗練されつつ明るい雰囲気の部屋になっています。



デイルーム
壁の面積を少なくし全面に窓を設置することで開放的な空間にしました。



手術室
新病院に手術室は4室あります。



スタッフステーション
仕切りの無い、オープンな空間にしました。

新病院建築スケジュール

平成 26 年			平成 27 年										平成 28 年				
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
準備・仮設工事		土工事		基礎躯体工事		埋戻	本館棟地上躯体工事						内装仕上げ工事				
着工						付属棟基礎		本館棟内装工事						各種検査		竣工	
						病室モデル		外装工事(タイル・吹付け・シーリング)						外構工事			